

2-2. 中央公民館登録団体からの意見聴取

複合施設の建設に向け、中央公民館登録団体の皆さまからの意見聴取を実施しました。

- 調査期間 令和4年2月
- 調査対象及び調査方法 中央公民館登録団体へ説明資料・回答用紙を配布
- 意見提出団体数 有効回答 53 団体(全 83 団体)

問1「現在の中央公民館において、よく使われる部屋を教えてください。」

問2「複合施設(新しい中央公民館)において、現在の中央公民館から変わらないでほしい点を教えてください。(部屋の広さ、部屋の数、部屋の位置、明るさ、温度、音環境、音響設備、備品など)」

問3「複合施設(新しい中央公民館)において、現在の中央公民館から改善してほしい点を教えてください。(部屋の広さ、部屋の数、部屋の位置、明るさ、温度、音環境、音響設備、備品など)」

問4「複合施設(新しい中央公民館)の中や周りがあったらいいな、と思う部屋・機能・サービス等を教えてください。」

①-1 上記各問の回答のうち、各室等に関する意見(主に問1・問2・問3)

分類	変えないでほしい点	改善してほしい点
講義室 A・B 現公民館 1 階 57 m ² ・91 m ² R 元年利用率: 47%・46%	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な広さ ・大きい窓(採光・換気) 	<ul style="list-style-type: none"> ・室数を増やす ・広くする ・AV 設備を配置する ・天井を高くする(イベント利用)
第2会議室 現公民館 1 階 74 m ² R 元年利用率: 41%	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な広さ ・大きい窓(採光・換気) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音が響き、声が聞き取りにくい ・少し暗い
工作室 現公民館 1 階 37 m ² R 元年利用率: 18%	<ul style="list-style-type: none"> ・工作室を引き続き設置 ・陶芸用の設備があること 	<ul style="list-style-type: none"> ・水場が必要 ・少し広くする ・作業室を付属する ・陶芸特化の仕様や設備を設ける
大講堂 現公民館 2 階 505 m ² R 元年利用率: 49%	<ul style="list-style-type: none"> ・広さ ・ステージがあること 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ・体育館仕様とする ・1階に配置する ・客席が段状となった劇場風にする ・明るくする

①-2 上記各問の回答のうち、各室等に関する意見(主に問1・問2・問3)

分類	変えないでほしい点	改善してほしい点
和室 A・B 現公民館 2 階 58 m ² ・45 m ² R 元年利用率:33%・31%	<ul style="list-style-type: none"> ・和室を引き続き設置 ・景色が見える ・靴を脱いで使用できる環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブル・椅子が使える仕様に ・テーブルが重い ・障子を別の遮光物にする ・現在の 2～3 倍の広さに ・温かみと明るさ感のある照明にする ・入口近くに配置 ・和室少なく
教養室 A・B 現公民館 2 階 31 m ² ・31 m ² R 元年利用率:16%・29%	<ul style="list-style-type: none"> ・和室を引き続き設置 ・適度な広さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道ができる仕様に ・入口近くに配置 ・和室少なく
視聴覚室 現公民館 2 階 45 m ² R 元年利用率:18%		<ul style="list-style-type: none"> ・PC 電源位置を改善
第3会議室 現公民館 2 階 82 m ² R 元年利用率:46%	<ul style="list-style-type: none"> ・広さ ・大きい窓(採光・換気) 	<ul style="list-style-type: none"> ・室数を増やす ・広く ・AV 設備を配置 ・手荷物を置く場所を設ける
料理教室 現公民館 2 階 78 m ² R 元年利用率:12%	<ul style="list-style-type: none"> ・料理教室を引き続き設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用食洗器を設置 ・汎用性の高い食器を配置
(共通、他)	<ul style="list-style-type: none"> ・使いやすい椅子等の備品 ・立地的に静粛な環境 ・利用料金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビーが暗くて寒く感じる ・展示・掲示スペースの充実化 ・少人数でも使える部屋を増やす ・耐久性の高い仕上材とする ・各部屋に Wi-Fi 設備を設置 ・プロジェクター、ホワイトボード、印刷機等の備品を充実化 ・テーブル・椅子の常設化 ・冷暖房・換気設備充実化 ・窓の開閉がしにくい ・茶殻等を捨てられるように ・段差、障害物のない動線 ・バリアフリー ・ユニバーサルデザイン ・トイレ個室を増やす ・利用可能時間を延長 ・公民館使用申請書の改善

② 上記各問の回答のうち、新しい複合施設に求める部屋・機能・サービス等の意見(主に問4)

分類	主な意見の概要
部屋・スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ等のくつろげるスペース、誰でも使える談話室、休憩室 ・多様性・専門性を有した大講堂(コンサート・講演等)、大賀ホールと役割分担された大講堂、講演会がしやすいホール(適度な音響環境)、客席常設でステージが見やすいホール、大講堂と第3会議室の間の広さのスタジオ ・アップライトピアノ等常設の防音音楽室 ・映画上映・演劇ができる会場・設備 ・図書館・資料館、対面朗読室、軽井沢関係の書籍スペース ・多目的スペース、フリースペース(町役場と共用)、自習室 ・こどもが遊べるスペース ・住民向けのイベント案内コーナー ・軽井沢らしいアートスペース ・避難所機能を見据えて個室化できるスペース ・リモートワークスペース ・温泉 ・軽食の食堂、コンビニエンスストア ・24時間使えるトイレ(深夜のEV充電に対応) ・多目的トイレ、おむつ交換スペース、荷物置きスペース
外部スペース等	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外ステージ、雨にぬれていいベンチ ・屋上緑化(在来種)、花壇(町内各区による管理で区民どうしの親睦も図る) ・建物周辺が癒しや憩いの空間となるランドスケープ ・病院入院者や高齢者・障害者が散策を楽しめるランドスケープ ・軽井沢に古くからあるもの(植生)を活かした季節を楽しめる小公園 ・駐車場(十分な駐車台数) ・太陽光発電パネル
機能・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据えた適切な規模・機能 ・自販機(紙コップでない、ご当地等) ・有料の講演会やコンサートができるように ・迷わないで目的地へ行けるわかりやすさ ・音声・手話対応の受付(タブレット等)、窓付きエレベーター(緊急時に中を確認)、音声字幕付きAED、緊急パトライト・衝突防止ミラー ・備品レンタル(ミシン、のこぎり) ・予約管理のシステム化、冬場の暖房費徴収、職員の町民に寄り添った対応
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・明確なコンセプト ・軽井沢に相応しい文化ホール的な施設に ・有効な平面を確保できる凸面の外壁構成

2-3. 老人福祉センター趣味クラブからの意見聴取

複合施設の建設に向け、老人福祉センター趣味クラブの皆さまからの意見聴取を実施しました。

- 調査期間 令和4年3月
- 調査対象及び調査方法 老人福祉センター趣味クラブへ説明資料・回答用紙を配布
- 意見提出団体数 有効回答13団体(全15団体)

問1「現在の老人福祉センターにおいて、よく使われる部屋を教えてください。」

問2「複合施設において、現在の老人福祉センターから変わらないでほしい点を教えてください。
(部屋の広さ、部屋の数、部屋の位置、明るさ、温度、音環境、音響設備、備品など)」

問3「複合施設において、現在の老人福祉センターから改善してほしい点を教えてください。(部屋の広さ、部屋の数、部屋の位置、明るさ、温度、音環境、音響設備、備品など)」

問4「複合施設の中や周りがあったらいいな、と思う部屋・機能・サービス等を教えてください。」

① 上記各問の回答のうち、各室等に関する意見(主に問1・問2・問3)

分類	変えないでほしい点	改善してほしい点
工作室 現センター2階 54 m ² R元年利用者:5436人 (工・娯・図 合計)	<ul style="list-style-type: none"> ・工作室を引き続き設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・防音設備 ・木工特有の設備・備品の用意 ・作業スペースと機械工具使用スペースの分離
娯楽室 現センター2階 54 m ²		
図書室 現センター2階 40 m ² ・40 m ²		
大広間 現センター2階 200 m ² R元年利用者:1149人	<ul style="list-style-type: none"> ・広さ ・明るさ・温度・音環境など 	<ul style="list-style-type: none"> ・広くする ・ステージを大きくする ・1階に配置する ・防音設備 ・壁面に鏡を備え付ける ・冷暖房設備、床暖房(床がタイルカーペットではなく、フローリング等となる場合) ・もう少し明るくする ・一体型移動式カラオケシステムの音響、スクリーン、曲の追加 ・無線接続できる音響設備
(共通、他)	<ul style="list-style-type: none"> ・浴室の設置 ・給湯設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に明るくする ・空調設備

② 上記各問の回答のうち、新しい複合施設に求める部屋・機能・サービス等の意見(主に問4)

分類	主な意見の概要
部屋・スペース	<ul style="list-style-type: none">・喫茶スペース、休憩室・ヨガやダンスができる壁面鏡張りの部屋・シアター兼用の大広間(エコールみよた設備参照)・小さめの部屋
外部スペース等	
機能・サービス	<ul style="list-style-type: none">・麻雀台・エレベーター、歩く歩道
その他	

2-4. 関係機関・団体との意見交換会

新庁舎・複合施設の計画に関し、町内の関係機関・団体の皆さまと「意見交換会」を実施しました。

- 調査期間 令和4年4月15日(第1・2回)、令和4年5月20日(第3・4回)
- 調査対象及び調査方法 町内の関係機関・団体と対面形式での意見交換(計4回)

第1回 出席者:軽井沢町社会福祉協議会、老人クラブ連合会、男女共同参画計画推進委員会 (軽井沢町身体障害者福祉協会は欠席)

分類	主な意見の概要
新庁舎について	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの縁側:「縁側」というネーミングがよい ・託児スペース(こどもまちやくば)の案は、こどもをあずけて手続きできるのでよい。社協のボランティアを活用して、ボランティアスペースとセットにするなど、管理面にも配慮できる計画がよい ・窓口:現状、婚姻届と死亡届を出す窓口が一緒なのが難点 ・執務室:総務省の集中デスクのように、職員のスペースの中にも集中作業ができる場所等があるとよい ・防災倉庫:2階から物をおろすのは不便 ・地下空間:地下水位が高く、地下空間を使いにくい敷地だが、防水を適切に行うなどして、有効活用できるとよい
複合施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・町内外のアーティストと交流できて、こどもたちや若い人たちが集まり、アートにふれられる施設になるとよい。町全体のアートレベルを高めて、いいものにふれてもらえる機会を増やしたい ・ギャラリー:写真をテーマにアートコンテスト(フォトフェスタ)を開催し、受賞作品の展示を行いたい ・ギャラリー:高級なギャラリーがあると格好良い ・ギャラリー:軽井沢町内の美術館・資料館等と連携(サテライト利用など)できるとよい ・調理室:こどもキッチンの活動等で継続して使いたい ・みんなで片付けする際、せまく感じる ・和室:木もれ陽の里では大きい和室はあまり使っていないこともあり、大きい和室は必要ない ・和室:こども連れにとっては、飲食店などでも和室があるとありがたい ・多目的室:どのくらいの大きさで何人くらいが入れるようになるか気になる。講演会などが行えるとよい ・講堂:現状、町内でイベントを行おうとすると、場所は中央公民館(講堂)しかない。自動で席がでてくる設備があるとよい
外部空間について	<ul style="list-style-type: none"> ・もりの縁側:ペットツーリズムに対応できるとよい。あわせてマナー教室の実施も必要
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・早く完成するとよい ・スペースは限られているので、総合的に判断していいものを計画してもらいたい ・車いすの方も移動しやすいように、新庁舎から複合施設まで段差なく移動できるとよい ・軽井沢の紹介を行える施設になるとよい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・夏は車ではなくてEバイクを利用するなど、車を増やさずにまちを盛り上げていきたい ・地元の人間からすると、観光客には生活をおすそ分けしているイメージなのでお金をおとしてもらう仕組みが重要 ・観光客からは地元の方と話せる場所を尋ねられることがある等、地元との交流を求められている

第2回 出席者: 中軽井沢エリアデザイン運営会議、町内循環バス関係者(軽井沢町住民課、西武観光バス株式会社、草軽交通株式会社、千曲バス株式会社)

分類	主な意見の概要
新庁舎について	<ul style="list-style-type: none"> ・構造形式(RC 造や木造など)が気になる。木材をうまく使って町民があつまりやすい空間にしてほしい(例:長岡市庁舎) ・庁舎外観の色、素材なども気になる
複合施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・講堂:どのくらいの人が入れるか気になる ・青年会議所の活動で使うことがある「エコールみよた」は移動客席を導入しており、使い勝手がよい ・老人福祉センターには入浴施設がある
外部空間について	<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェを開きたい。中軽井沢エリアでは中軽井沢駅前マルシェを行うこともあるが、広くないし、駐車場の問題もある ・もりの縁側:芝生や植栽の中で、ベンチ等休憩できるスペースがあるとよい ・車路:病院駐車場と新庁舎駐車場を結ぶ、車両ルートはあった方がよい。日常的に使わなくてもよいが、両駐車場の連携ができることが大事 ・バス停:町内循環バスのバス停を病院から新庁舎玄関前に移す場合、病院利用者のバス停までの移動距離が長くなる。また、バス自体の移動距離も長くなるので、今より時間がかかる可能性がある ・駐車場:町内循環バスの終点となる場合、現状20分程度の待機が必要だが、待機スペースを確保できるか懸念 ・駐車場:複合施設を利用する際に周辺の駐車場に影響がでないか懸念
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェやテラスなどコミュニケーションが取れる空間があるとよい。軽井沢らしい景色などを眺めながら町外の方を連れてこられる場所になるとよい(例:群馬県庁ワーキングスペース)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・中軽井沢駅～湯川ふるさと公園～庁舎とつなげたいところだが、駅～公園の間の湯川に橋をかけられない。公園内の遊歩道は地元の方も意外と知らない ・中軽井沢エリアでの主要な移動ルートは、中軽井沢駅からまっすぐハルニレテラスに行くか、軽井沢駅から自転車を使って移動してくるかの二択。新庁舎にいくなら自転車が主体になるかもしれない ・町全体にサイクリングロードができるとよい ・町内循環バスには観光客も乗車する。ポンチョ(車種)だと人が乗れないこともあるので、西武観光は中型車両としている ・新たなモビリティについては3月末に実証実験を行ったところ。次のフェーズに進んでいる

第3回 出席者:赤十字奉仕団、気象庁浅間山火山防災連絡事務所、軽井沢消防署

分類	主な意見の概要
新庁舎について	<ul style="list-style-type: none"> ・2階にある備蓄倉庫は物品運搬しにくい ・気象庁浅間山火山防災連絡事務所と軽井沢町防災担当が同席できる執務環境としてほしい。 ・執務空間付近から浅間山が直接視認できるとよい ・災害対策本部付近で外部に出られて浅間山の振動や匂い等を体感できるようになるとよい。 ・気象庁浅間山火山防災連絡事務所から町長にすぐに助言できるとよい ・気象庁浅間山火山防災連絡事務所が住民ともコミュニケーションがとりやすい配置だとよい。 ・火山灰はモルタル化して重くなるため、排出・除去できる様にした方がよい ・報道対応やブリーフィングスペースとして大会議室を転用できるとよい
複合施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・1階に赤十字奉仕団用の備蓄スペースが欲しい。(医療セット、安眠セット、毛布セット各 40 箱で、スペースは面積 8 m²×高さ 2.5m 程度)備蓄倉庫の中で共用するかたちでもよい ・国道・河川関係の端末置場として講堂・多目的ホール等を転用できるとよい
外部空間について	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設トイレの外側にマンホールがあるとよい。避難所ではトイレが問題になる ・かまどベンチがあるとよい ・はしご車(全長 11.5m、幅 2.5m、アウトリガー5m、重量 21.5t)が建物から 14m 以内に停車できるとよい ・消防水利が設置できるとよい。40m³ 以上の耐震性二次防火水槽を希望するが、建物ピットでも良い(常時 40t 貯水、水利マークの掲示、タンク車の寄付きなど課題はあると思われる) ・ランデブーポイント(ヘリコプターのホバリングスペース)を検討してほしい。(軽井沢病院からの三次救急医療病院への早期搬送等を想定)空地さえあればよく、標識も必要ない ・ポンプ操法が出来るスペース(縦 73m 横 20m)があるとよい。アスファルトが望ましいが芝・土でもできる。市有地でやれる場所がない。コロナで中止になる前まではプリンスホテルに場所を借りて実施していた
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・窓ガラスは噴火時の空気振動対策として飛散防止フィルムを設置してほしい ・エレベーターはストレッチャー対応してほしい ・AED の設置に配慮してほしい。役場全職員の普通救命講習受講も要望する

第4回 出席者: 軽井沢町議会議員

分類	主な意見の概要
新庁舎について	(オンラインミーティング※でいただいた意見) <ul style="list-style-type: none"> ・情報デジタルサイネージがあるとよい。町内プロジェクトの進捗状況や、町の課題(現状と取り組み)についてわかるとよい
議会について	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた議会として、立ち寄りやすさや気軽さは大切で、議会のプロモーションのために、一般町民に使ってもらうことは必要 ・議会フロアの位置について、1階なのか3階なのかで、議会の姿も変わるものだと思うが、1階に町民対応の窓口を集約し、3階に議会を配置する案でプロポーザルも当選しているので、方針を崩す必要はない ・議場のあるべき姿として、会議目的が主である「単目的:固定式」とすべきか、臨時的に多用途に展開できる「多目的:可動式」とすべきか議論していて、様々な意見がでていて、ハイブリットという意見もある。事例やレイアウト案等を見ながら、さらに議論・意見交換していきたい ・今後、人口がどうなっていくかわからないところもあるのでフレキシビリティを持たせて、時代にフィットさせていけるとよい ・複合施設側の用途やキャパシティ等とのバランスで、議場の多目的利用の可能性も変わる ・議会関連諸室として、更衣室や、来訪者と懇談ができる打合せスペースの要望もある。打合せスペースは個室ではなく、談話スペース程度 ・若い世代や子育て世代(親子)、車いすの方が気兼ねなく傍聴できるようにしたい
複合施設について	(オンラインミーティング※でいただいた意見) <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸能・音楽・映画のためのホールがあるとよい ・体験・ワークショップ・生涯学習の部屋があるとよい ・調理の部屋があるとよい。非常時には炊き出しとしても利用できる ・一人で来ても、特別に用がなくでもすごせる場所、町内外の多様な人が集う場所になるとよい
その他	(オンラインミーティング※でいただいた意見) <ul style="list-style-type: none"> ・湯川ふるさと公園とのつながりがほしい。いまは分断されている ・中軽井沢商店街、駅、図書館等とのつながりもほしい ・赤ちゃんを預けるスペースや、子どもが騒いで食事もできる場所、子育て世代や子ども、中高生が集える場所や、みんなが安心して散歩ができる道があれば中軽井沢が全体的に活性化すると思う

※オンラインミーティング:令和3年8月3日に軽井沢町議会主催のもとオンラインで開催した、ワークショップ形式の意見交換会。「庁舎を中心としたまちづくりについて」をテーマに住民との意見・情報交換を実施。